

令和8年度第1回倉吉市男女共同参画推進市民会議 会議録

■日時：令和8年7月17日（金）

午後1時30分から2時40分

■場所：倉吉市役所第2庁舎 会議室303

日 程

【出席者】

- 委員 岩間会長、河本副会長、池田委員、井中委員、岩瀬委員、大月委員、中尾委員、中山委員、花田委員、藤山委員、山増委員（11／14名）
- 事務局 石賀市民生活部長、菅野人権政策課長、加藤男女共同参画係長

【内 容】

1 開 会

2 部長あいさつ

- ・日頃より男女共同参画推進の取組にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

第7次くらし男女共同参画プランは、皆様の審議を経て無事策定することができました。改めてお礼申し上げます。概要版を関係機関へ配布し、研修会として周知を進めてきました。6月21日に開催したフォーラムでは、プランの取り組み紹介とアンコンシャス・バイアスをテーマとした講演を行ったところです。

今後も機会を捉え、効果的な啓発を進め、市民一人ひとりの気づきと行動の変容を促します。

本日は、6次プランを振り返りつつ、7次プランに基づく効果的な施策について忌憚のないご意見を賜りたく存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

3 会長あいさつ

- ・今年度は「ぼうさいこくたい」が倉吉市で開催されます。男女共同参画の視点を取り入れていくということで、私も男女共同参画推進スタッフとして活動をしていきます。「男女共同参画」というと堅いイメージですが、女性の視点を取り入れながら皆で取り組んでいくことができればと思っています。

4 協議事項

- （1）第6次くらし男女共同参画プランの総括について
- （2）第7次くらし男女共同参画プランの実施について

発言者	内容
事務局	「プラン評価表」に沿って（1）（2）について一括して説明
委員	基本目標1の（1）女性人材登録制度について、登録者は何らかの形で活動されているのか、どのくらいの機会があるのか。色々な特技を持っている人がいると思うので、活躍できる場があると良い。

事務局	令和7年度に行った登録者名簿の見直しの際、活躍いただける方法について課内でも協議を行った。8年度は男女共同参画推進月間のフォーラムにおいて特技を披露していただいたり、パネリストとして登壇していただいた。今後も皆様の前で活躍していただける、人材を有効に活用できる機会を引き続き考えていきたい。
委員	基本目標1の(2)家族経営協定について。農業関係で男女共同参画の指数を調べるのはこの数値しかないのか。ずっと使用しているの、これ以外にあればと思うが。
事務局	確かにこれ以外に目で分かる数値があれば良いが。現在はこの指標しかないため、他にいいものがあれば考えたい。
委員	締結数が減っているのは何か理由があるのか。
事務局	農林課に確認したところ、農業経営を辞めたり、協定者が死亡され、減になっているとのこと。
委員	農業分野における男女共同参画は長年の課題。 家族経営協定は、新規就農者の登録の際に併せて行っているもの。一度協定を結んでそれで終わりではなく、働きぶりが評価されているか、昇給の仕組みがあるか、兼業農家の場合は女性に専従者給与がきちんと払われているのかなど、経営体によって状況は様々だが、個々に応じた見直しは必要。 これまで協定上は共同経営者であるのに夫の名で書類が届くことが多かったが、最近はややく連名で届くようになった。 また、新規就農者に対する制度は手厚いが、継続している農業者への支援が少ないので、そこは課題だと思っている。 また、様々な農業人材にスポットを当てて紹介してもらいたい。
委員	人材登録者名簿は依頼すれば提供してもらえるのか。インターネットで確認できるか。
事務局	ホームページには掲載していない。名簿の提供先は基本的に市役所の各課。元々、市の所管する各審議会に、経験値をお持ちの方を紹介する制度であり、審議会女性登用率を上げていくことがベースとなっている。 相談いただければ、紹介はさせていただく。
委員	基本目標2の(2)、乳がん・子宮がん検診の受診率について、個人的に予約して受けている人は入っていないのか。
事務局	受診対象者のうち、倉吉市の受診券を使って受けた方の率。個人や職場で受ける人は含まれていない。
委員	乳がん・子宮がん検診が指標になっているが、どちらも女性に特化した検診で、例えば男性に特化した前立腺がん検診等はなぜ指標にならなかったのか。
事務局	女性に関しては、心身状況が生涯の各段階に応じて大きく変化する特性があることを踏まえ、6次プラン時はこの指標を使用することで整理。7次プランは指標を変更している。令和元年度の審議会で指標を決定して以降、なかなか動かせなかったもの。
委員	基本目標2の(3)支え愛マップについて。自治公民館単位だけでなく、班単位で作成し、毎年更新している地域もある様子。素晴らしい取り組みだと思う。
委員	支え愛マップづくりはH24に県の補助金から始まった事業。社協から毎年各地区に作成・更新の声かけを行っている。近年は個人情報関係や館長の負担軽減の観点から難しい面もあるが、意識は向上している。更新しながら常に体制を整えていくことは大切。

5 報告事項

(1) 男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰について

- ・毎年6月に、国の「男女共同参画週間」に合わせて実施される「男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰」を、今年度大月委員が受賞。性別に関わらず誰もが活躍できる社会づくりに、長年大きく貢献した個人を称えるもの。

(2) 「キズキアイとっとり」県民運動及び諸制度について

- ・資料に基づき事務局から説明

6 その他

(1) 令和7年度男女共同参画推進事業について

- ・資料に基づき事務局から説明

(2) 倉吉市女性人材登録制度について

- ・新しい視点を取り入れるため、新規登録者を募集中

7 閉 会